

松阪市子ども支援研究センターだより

松阪市子ども支援研究センター〈TEL. 26-1900 FAX. 26-1901〉
 E-mail:kyo.div@city.matsusaka.mie.jp <http://www.city.matsusaka.mie.jp>
 松阪教育支援センター「鈴の森教室」「三雲やまゆり教室」
 〈TEL 26-1900 FAX 26-1901〉 E-mail: suzunomori@matsusaka.ed.jp

一年間ありがとうございました



3月も中旬となり、桜の開花が待たれる頃となりました。松阪市子ども支援研究センターの周辺にはたくさんの桜の樹がありますが、その蕾は日々膨らみを増しています。

さて、早いもので今年度も残りわずかとなりました。松阪市子ども支援研究センターの事業も、いよいよまとめの時期となりました。研修講座をはじめ、教育相談や不登校に関わる松阪教育支援センター事業、情報教育や外国人児童生徒教育、理科教育等、様々な事業を進めてまいりましたが、一年を振り返ると、人とのつながりで支えられていることを実感する日々だったと感じています。

最後になりましたが、この一年、子ども支援研究センターの活動にご協力、ご支援いただき、本当にありがとうございました。平成31年度事業も、より充実した内容でご提供できるよう計画、準備を進めています。ぜひご活用いただき、「明日」からの子どもたちの豊かな学びに、心の成長につなげていただくことができれば幸いです。どうぞよろしく願いいたします。

この一年間、「子ども支援研究センターだより」をお読みいただき、ありがとうございました。

(野田 幸範)

購入書籍のお知らせ

今年度購入した書籍の一部を紹介します。これらは、市内の教職員を対象に、教育関係書籍の貸出も行っております。お近くにお越しの際に、当センター事務所にお立ち寄りいただき、「蔵書」コーナーの本をぜひご活用ください。

書名	著者名等
不登校になったら最初に読む本 ～親と先生と子どものための再出発のヒント～	小林高子
教室でできる気になる子への認知行動療法 「認知の歪み」から起こる行動を変える13の技法	松浦直己
「プロ教師」に学ぶ真のアクティブ・ラーニングー “脳働”的な英語学習のすすめ	中嶋洋一
小学校教師のための英語ゲームこれだけ! DVDですぐわかる!明日から使える!	吉田研作
秘伝 森田和良の理科教材研究ノート ここから始まる授業成功への道	森田和良

☆新着書籍、過去の書籍等は、子ども支援研究センターのホームページに掲載しています。

子ども支援研究センター研究集録

2人の長期研修員が、市内の小中学校にご協力いただき
取り組んだ研究を、研究集録にまとめました。



研究集録 第135号

小学校 外国語教育 課題から連携を探る - 「人」「授業」「組織」 一貫した教育を目指して -

小学校外国語教育を実践していくにあたり、「連携」をキーワードに、課題の整理、分類、そして検証を行いました。その結果、「人」「授業」「組織」のそれぞれが連携し、連携を深めることが、課題解決につながるようになりました。

これらの連携によって、外国語教育が、より系統的・横断的な学習となり、学力の向上にもつながると考えます。

小中学校の連携も重要です。県内外の「小中連携」「一貫教育」をテーマに取り組んでいる先進校の実践、情報も、様々な視点からまとめました。

本研究集録が、今後の外国語教育のヒントとなれば幸いです。

(長期研修員 一木 剛)

研究集録 第136集

「CAN-DO リスト」を活用した授業づくり — 自律的学習者として学習する生徒を目指して —

急速なグローバル化の進展に伴い、外国語によるコミュニケーション能力の向上が急務となっています。本研究では、中学校外国語科において、「CAN-DO リスト」を活用した授業実践を行いました。

「CAN-DO リスト」を活用して、単元の目標と評価（パフォーマンステスト）を設定し、それに向けた指導計画を作成しました。以上の内容を生徒と共有し、言語活動を中心とした学習を進めることで、生徒の学習意欲が高まり、話す力も向上しました。さらに、到達目標を生徒と共有することで自律的学習者として主体的に学習する態度・姿勢の育成に効果があることもわかりました。

本集録が今後の外国語教育の授業実践の一助となれば幸いです。

(長期研修員 中西 博幸)